

科目名	保育教材と指導計画の研究				担当	酒井 真由子		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年後期	実務経験	教員として特別支援学校で勤務経験有	
必修	—				ナンバリング	Y3401	DPとの関連	2
授業概要	身近な自然や素材、道具を通して教材研究を実際に行ったうえで、指導計画の作成についての理解を深める。また、本授業は信州大学教育学部との相互乗入れ授業も実施する。幼稚園と小学校に共通の課題について、ケース・メソッド、グループワーク、ディスカッションを用いて信州大学の学生とともに考えることにより、幼小連携の必要性について理解することを目指す。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材研究の意義を理解し、主活動の指導計画を作成する</li> <li>信州大学との相互乗入れによる共通課題への取組みを通じ、子ども理解を深め、小学校と幼稚園の教育の違いを理解する</li> </ul>							
授業計画	回	内容						
	1	イントロダクション			本授業の概要と目的を理解する			
	2	K J法によるワーク			園の保育内容についてK J法で検討する			
	3	ディテールにこだわって物語を作る①			課題に従って物語を制作する（グループワーク）			
	4	" ②			グループのプロダクトを発表する			
	5	ケース・メソッド①			信州大学の学生と共に、ケース・メソッドを用いて、ケースを理解する			
	6	" ②			信州大学の学生と共に、ケース・メソッドを用いて、子ども理解を深める			
	7	自然物を扱った遊びの研究①			自然物を使った多様な遊びについて理解する			
	8	" ②			自然物を使った遊びを実践する（自然体験活動）			
	9	" ③			自然物を使った遊びをもとに指導計画を作成する			
	10	火を扱った活動の研究①			火の扱い方について理解する			
	11	" ②			焚火の活動を行う			
	12	身近にある素材の研究①			身近な素材の遊び方や扱い方について理解する			
	13	" ②			グループごとに教材研究をする			
	14	" ③			教材研究をもとに指導計画を作成する			
15	行事に関する教材の研究			行事に関する教材や工芸品について理解する				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材研究の意義を理解し、主活動の指導計画を作成することができるか</li> <li>信州大学との相互乗入れによる共通課題への取組みを通じ、子どもの特徴及び小学校と幼稚園の教育の違いを理解し、説明できるか</li> </ul>							
評価方法	授業態度 20% 課題1（指導計画の作成）50% 課題2（相互乗入れによる課題への取組み）30%							
フィードバック方法	課題を確認したら、授業内で返却する							
アクティブラーニング	グループワーク、ディスカッション、自然体験活動							
教科書	資料を授業時に配布する							
参考書	適宜、紹介する							
履修条件	グループの仲間や信州大学の学生と同じ課題について検討を行ったり、作成したプロダクトを発表したりするなど参加型の授業が中心となるので、積極的に参加する力を有すること。							
授業外学習	事前学習：教材研究や模擬保育のプランを明確にするために、保育雑誌や図書館の資料に目を通す 事後学習：ディスカッション等を通して得た学びを記述する							
オフィスアワー	オフィスアワーの時間は、掲示板に掲示する							